

# Servoplan E600

## 速乾 & 即硬型流動性スクリード

- 5~80mm
- セリフレベリング性あり
- 速乾&即硬性
- セラミックタイルは打設後 24 時間で施工可能
- 低ストレス
- ポンプ
- 床暖房(埋設型)に適



### 特徴・用途

DIN18353, DIN18650 を満たしたレベリング性が付与されたセメント、アクリルポリマー含有した速乾型スクリード。DINEN13813 による強度クラス CT C45-F7。コンクリート、絶縁層、絶縁層にあるヒーティングスクリードへの打設が可能です。

Servoplan E600 はセラミックタイル、天然石、弾性/テキスタイル床材、フローリングの下地としても適しています。屋内使用においては、下地が DIN 18560 による、湿度負荷クラス A0 に適していることを確認してください。フローリングスクリードや分離層へ打設する場合には、CM 測定器で湿度測定を行ってください。

床暖システムない場合: ≤3.0CM%

床暖システムがある場合: ≤2.5CM%

### 下地の準備

建築基準やルール、特に DIN 18353, DIN18650, DIN1264 4 項を順守してください。打設 48 時間前までに誘発目地を作ってください。下地は乾燥しており、安定しており、固く、清潔で、残留物などのない状態であることを確認してください。壁周りのテンションを弱めるため、またテンションを弱める必要のある場所にシール材を打設してください。

作業時間内に打設できる範囲に作業をとどめてください。大きな面積の場所にはエクспанションジョイントやスクリード角などで分割して作業を行ってください。打設量は 1:1 ~ 1:2 に制限してください。

### 埋設型床暖房への対応

最大暖房範囲は 6.5m、40 m<sup>2</sup>までに制限されております。

温水パイプは最低 45mm 以下に埋められている状態であること。最大フロー温度として 55°Cまで可能です。DIN EN1264-4 を順守し、暖房プロトコルを行い、記録をとります。打設から早く 24 時間後にはフロー温度 25°Cから暖房を開始させることができます。この温度で 3 日間放置してください。最大のフロー温度に設定し、4 日間放置します。その後、15~20°Cまで下げます。

暖房範囲のない場合は、最大 8m、60 m<sup>2</sup>まで可能です。

打設前に次にあげるプライマを下地状況にあわせて塗布してください。Okatmos DSG, Okapox GF, Okamul PU-V schnell, Okatmos UG30

最下部に接するスラブと湿気のある表面は適切に湿気バリア対応が行われていることを確認してください。石こう下地にも適用されます。10mm 以上の石こう下地には、Okatmos DSG, Okamul PU-V schnell, Okapox GF でプライマ処理を行ってください。アスファルトベーススクリードには分離層のみ可能です。

### 技術データ

色	グレー
用途	屋内のみ
防火 (EN13501-1)	A1
参考塗布量	約 1.8kg/m <sup>2</sup> (1mm) 粉体状態
作業環境温度	+5~25°C(下地)
水の割合	3.2~3.4 %/20kg
厚さ	コンポジットとして: 5~80mm 分離層の上: 30~80mm 絶縁層の上: 35~80mm
再攪拌までの時間	約 5分
作業可能時間*	約 60分
軽歩行*	打設後約 3 時間
施工時間	非密着(フィルムの上に直接打設) セラミックタイル: 打設後約 24 時間 天然石: 打設後約 24 時間/10mm 弾性床材: 打設後約 7 日/CM 湿度測定 テキスタイル: 打設後約 7 日/CM 湿度測定 フローリング: 打設後約 7 日/CM 湿度測定  密着(下地の上に打設) セラミックタイル: 打設後約 3 時間 天然石: 打設後約 24 時間/10mm 弾性床材: 打設後約 24 時間/10mm 打設後約 48 時間/20mm 打設後約 72 時間/20mm 以上 フローリング: 打設後約 72 時間
圧縮強度 (DIN13851)	28 日後:約 45N/mm <sup>2</sup>
曲げ強度 (DIN13851)	28 日後:約 7.0N/mm <sup>2</sup>
軽歩行*	打設3~4 時間後(排水システムモルタルの場合、約 4 時間後)
床暖房(温水)	適 (下地準備参照)
EMICODE	EC1 plus
GISCODE	TRSG613 に基づき ZP1
保管	乾燥した場所で 6 ヶ月

\* 温度 20 度、相対湿度 65%の環境下での数値。高温、低温の場合には、各数値はそれぞれ下がり、低温・高温気の場合には、各数値は、それぞれ上がります。

### 作業

冷たく、きれいな水を加えて、600rpm のミキサーで、だまがなくなるまで攪拌してください。約 5 分放置し、再度軽く攪拌してください。大面積には、M-TEC duo mix 2000, Putzmeister などの攪拌ポンプ機を用いることも可能です。ポンプ機を使用する場合、粘度状況を常に確認してください。攪拌後、すぐに打設し、適切なこてで均していきます。

打設後はじめの 24 時間は、直射日光や激しい気温変化、風などを受けないようにして下さい。打設厚は DIN 18560 による負荷度合いにより異なります。セラミックタイル、天然石施工する場合には、C2-S1 グレードのモルタル接着剤を使用して下さい。

### 重要事項

水分量が多い場合、現場環境が芳しくない場合、大きな収縮が発生し、クラックが発生する恐れがあります。

ここに示しております歩行可能時間は現場環境や打設厚により異なります。

天然材料を原料としており、現場環境に影響を受けます。

バッチ/ロットを混ぜて使用しないでください。

### 工具と参考塗布量、洗浄

工具及び床材表面をすぐに水で洗浄して下さい。

### 梱包(1 パレット)

54 x 20kg 紙袋

### 備考

ここに挙げられている事項は、経験によるデータで使用者の参考となることを目的としております。しかし、当社は個々の作業に携わることができません。その上、作業の環境を知ること出来なため使用者の作業の出来を保証することは出来ません。

上記の理由により、作業をする前に必ず試し塗りをすることをお願いします。